

市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。

シリーズ景観 38

～「みんなで残したい松江の景観400選集」から景観審議会が特にお薦めする景観～

— No. 177 明々庵から望む松江城と北堀町の町並み・No. 178 明々庵から望む松江城 —

「松江城と北堀町の黒瓦屋根の町並みが調和した景観が好きです。松江城を眺めながら御抹茶と和菓子をいただく、そんな優雅なひとときを過ごしてみられてはいかがでしょうか」（写真左）「明々庵の城見台から見る雪景色の松江城も乙なものです」（写真右）と推薦いただきました。

明々庵は、茶人として有名な松平家七代藩主治郷はるさと（不昧ふまい）公によって建てられた茶室です。当初は、殿町の松江藩家老有沢家本邸にありましたが、明治維新後転々とし、昭和41（1966）年、不昧公150年祭を機に現位置（北堀町）に移築されました。現在の明々庵は、塩見縄手の裏手にある赤山の台地上にあるため、不昧公ゆかりの茶室だけでなく、城見台から普段とは違う町並みや松江城の眺望も楽しめます。季節ごとに趣を変える城下町・松江の四季を、当時の面影を残す明々庵（城見台）からご覧になってみてはいかがでしょうか。

推薦写真



「みんなで残したい松江の景観400選集」は、市ホームページでご覧いただけます。
【問い合わせ】まちづくり文化財課 景観政策係 ☎55-5387

松江の景観400選

検索